

会議等議事要旨記録票

日 時	令和2年10月27日（火曜日）午前12時00分から午後13時00分まで		
場 所	28C会議室（Web会議）		
会議等名	リスクコミュニケーションチーム会議		
議 題	リスクチームの活動にかかる意見交換		
参 加 者	賀来座長、チームメンバー、外部アドバイザー、福祉保健局関係部長・課長等		
配付資料	別紙のとおり		
結 果 <small>※当てはまる項目にチェック</small>	<input type="checkbox"/> ①事案について了承（意見なし） <input checked="" type="checkbox"/> ②事案について了承（意見あり） <input type="checkbox"/> ③事案について要修正 <input type="checkbox"/> ④事案について不承諾 <input type="checkbox"/> ⑤別紙にて情報共有（説明のみ）		
主な内容	<p>（資料説明の後、意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都民に情報を示して安心を持っていただくことが重要。マスコミの影響も大きい。キャッチボールしながら情報共有することが必要。 ・データをクリーニングしきれていないが、年齢差も見て取れる。この結果を出すことで、この世代はけしからん、とならないか懸念。分断を生んでしまうかもしれないので、情報の出し方は注意が必要。 ・感染症対策を行い、自分を守ることで、他人も守ることにつながるというモチベーションをどのように持ってもらうかが重要。専門家も行政も国民も、一体となって意識を持つことが重要。 ・長いスパンの予測が必要であり、感染症史や人文社会学的なアプローチも必要。 ・新聞は中高年が読むが、若者はテラーメイドでメッセージを送るべき。 ・いつまで続くのか、先がわかれば希望を持てるが、今は希望を持ってない。歴史を見ても、大きな流行があつて徐々に下がっていく。新型コロナは打ち勝てる感染症であるということが示せるとよい。ポジティブなメッセージを送ることが必要。 ・分科会の先生方の中から、あるいは政治家からメッセージを出すほうがよい。 ・情報発信する曜日を固定し、週に1度でも、都民に情報が入るようになるとよい。 <p>・都の記者クラブの報道機関に対しアンケートをする予定。彼らの意見を聞いて、報告書をつくる。フィードバックを受けて全体に共有する。相互理解が進むとよい。</p>		
作 成 者	計画課 小田	確 認 者	新型コロナウイルス感染症対策企画調整担当課長 岡野